

喜多方市市民活動 支援センター通信

発行：2023年8月
発行者：喜多方市市民活動
支援センター

Vol.47(2023年度第2号)

市民活動団体紹介

一般社団法人 食・環境改善機構

【代表理事：加藤 紘一 さん】



(Q.どんな団体ですか?)

人間にとって最も大切な、食の安全と環境の改善を目指し、さまざまな事業を行っています。

(Q.どんな事業を行っていますか?)

今一番力を入れているのは、「ゼロカーボンに向けた勉強会」です。情報の共有や地球温暖化防止に向けて市民意識の高揚につなげていくことを目的に開催しています。「なぜ今ゼロカーボンなのか」「ゼロカーボンに向けて自分たちができること」「企業のゼロカーボンに向けた取組」などをテーマにこれまでに4回の勉強会を実施し、市民主体

のできることから取り組んでいきたいと考えています。今後も定期的に勉強会を開催予定です。



←
勉強会の様子

団体 HP



他に、食育勉強会や食育フォーラム、自然微生物農法学習会などの開催、タイ・アカ族のコーヒーを商品化して販売し、その収益をアカ族へ寄付したり、交流したりする事業も行っています。また、ケナフに関する情報発信も行っています。ケナフにはCO₂の吸収や大気の浄化作用などの働きがあり、ナノカーボンエンジンオイル添加剤(エンジンオイルと一緒に入れると車の走行距離が長くなるという実験データがあります)の原材料にもなります。“環境に優しい植物”ケナフについてもっと多くの方に知ってもらうための活動も行っています。

法人設立の契機にもなった原発事故。放射能汚染で未だ出荷規制のある山菜や土壌の放射能検査とそのデータの蓄積、放射能汚染に関する勉強会なども実施しています。昨年度はコロナの影響で思うように実施できなかった事業もありますが、今後、徐々に再開していきたいと考えています。

(Q.みなさんへ一言)

これからの環境改善の柱は、CO₂削減と温暖化防止だと思います。ひとりひとりが課題意識を持って生活していけるよう、市民全体で共有し、みなさんと一緒に2050年に向けてカーボンニュートラルを考えていきたいと思っています。

さまざまな事業を通して食と環境の改善に取り組んでいますので、関心のある方のお入会をお待ちしています! また勉強会などはどなたでもご参加いただけますので、ぜひご参加ください!

現場からレポート ♪ 団体の活動の様子をお伝えします ♪

喜多方市家庭教育支援チーム“もも” 講座「SNSの本当の怖さとは 第2弾」開催

喜多方市家庭教育支援チーム“もも”は、喜多方市中央公民館と連携して家庭教育講座を年4回開催しています。今年度第1回目は、講師にSNS教育サポーターの原田友紀子先生をお迎えして、「SNSの本当の怖さとは 第2弾」を7/22に開催しました。

「子どものSNSは何が心配?」「成長過程の子どもの特徴」等、項目ごとに危険な具体例が示され、ご自分の経験、最近の事件、統計にも触れて、子どものSNSの実態がよくわかるお話でした。子どものSNS利用については、使うのを制限するのではなく、時間をかけて親子が一緒に経験を重ねながら安全な使い方を学んでいく考え方に切り替え、交通安全教育と同じように、SNSの安全教育も小さい時からしっかり身につけていく重要性を学びました。

子育て・孫育て中の多くの方々に聞いて欲しい内容でした。今後もさまざまな講座が開催されますので、ぜひご参加ください!



つながる~む de 茶話会 開催します

おいしいコーヒーを飲みながら、おしゃべりとワークショップで楽しい時間を過ごしましょう!

【日時・内容】

8/26(土) 「NPO ゲーム体験」
9/ 9(土) 忍伝堂 KITAKATA
「美眉講座」
9/30(土) nichi nichi coffee
「コーヒー講座」

※時間はいずれも10時~12時

【場所】

フリースペース「つながる~む」
(厚生会館内)

詳しくはチラシをご覧ください

